

第37回地域連携手帳委員会（略称：手帳委員会）

日時 平成30年4月19日(木) 13時30分～

1. 連携手帳の現状と問題点

- ・現在約4000部は発行されている。
- ・CM連絡部会より
むすびあい手帳への移行後、運用方法について把握しきれていない。
- ・大きく問題はなく、運用出来ている。

2. 連携手帳の発展的利用

- ・がん疼痛スケール
シオノギ製薬より提案あり（H29.11 地域連携協議会より）
フェイススケール利用
どのように配布するか。
当院ホームページ上にアップし、ダウンロード可能となっている。
疼痛をいかに管理していくか。
- ・医療、介護診療報酬改定にまつわる利用は可能か
医科歯科連携、CMと医療連携
指定書類があるものであり、手帳では対応できない

3. 「ワールドカフェ in 秋葉 2018 part2」（仮称）の開催

平成30年9月9日（日）午後 開催
場所：新津健康センター
テーマ：未定

4 その他

- ・事務局南波より
手帳の利用について
秋葉区、江南区では手帳は利用されているが、他の区では利用が少ない。
南区・・・医師、歯科医師、CM、DSによるワーキンググループが始動。
活動に参加。秋葉区での手帳利用の進め方について情報提供を行ってきた。
DSからCMへ手帳を発行する流れを取り、進めて行くこととなった。
むすびあい手帳のポスターを有効活用していく。

次回手帳委員会

平成30年 6月21日(木) 午後1時30分から
新津医療センター病院大会議室